如何なる運動があつて

仙石總裁陳情に答ふ

**損金部資金增加** 

も部内の存力なが

の質現かなずこさ

江木鐵相が最初臺灣總督に推薦

台方面で手腕に期待

塚本氏略歴

銀波樓主人

なるが、受験者は先づ自己の力なるが、受験者は先づ自己の力をであらうか、ごうかさいふこ

念が適いて出たさきには大概失思れくしは「駄目らしい」この歴

ある、大概の場合において

# で、塚本清治氏の関東 | 日午後美山御用邸に伺候石塚總督 | の齢表さ共に執炎御裁叩を得算を通至意報 | 孔塚 | 長館越用の似は十六日の脱繍で決 | の齢表さ共に執炎御裁叩を得算

外國語中に新に支那語を加ふ

茶

◆…最近ヤマトホ テルで催された ある會合での茶

愈よ新學期から實施

るでせう

午後執奏の上官記傳達

石塚總督の聲明書

七年度に

實現疑問

陸軍々制改革 果を昭和七年度課

に編入せればならいでないから強ひ

中等教育は實生活化する

丸山大連二中校長談

れに當る事さなつてゐる 憲法論的質問は第五部擔當者がこれべき臨時皆様代理設置に関する 近衞副議長 げる任命

印度政治犯

釋放主張 英官邊は否認

【ロンドン十五日發電通】・一般は大の短行の中のガンデー並びにその他甲度において映度代表マルラデア・ビカニル氏は左の短く動告したされずリス政府は速かに目下監禁は来る三月中において映度代表マルラデア・ビ 職身保が構立金の昭和五年度設付における政治犯人を释放すべき する等であるが常地悪信辱においてある 車新選留十萬金留を訛上しだ 車新選留十萬金留を訛上しだ 車新選留十萬金留を訛上しだ

電族院令第十一條に依り貴族院副 で 公路 近衛 文樹

東鐵の寢臺車

新造費計上

漢碑斷拓

世界中の莫

薬はメンソ 防備の第一 冬期の皮膚

レータムで

が其の特効 を立證しま

大なる需要

料はさうだよ。たしか次席は月井はさうだよ。たしか次席は月 ◆…「支店長の修 総が水席のより が、一支店長の修

◆…これを聞いて、みんな業まし
ンに驚てたのが多いだらうが」

さ知るべし

さの外に「支那語」を加ふ。選し

は、統務を大成する所以にあらず にた料機の職を置きかへるが処 を 地用せらむ。いづれも 経代。 地用せらむ。いづれる 経代。

樂備防傷凍。界屯

共匪討伐に

大觀小戲

▲原田航空大尉 十六日上り応客 機にて京城へ 函授學校長〉同上 の対學校長〉同上

漢口日本租界に 暴力回收説傳はり

代において、たど

質がされ子弟のた

悟さ努力を必要とするのである。それまして誰という。 こうしたさきに往々ぶつつ かる誰や目の離問題に難してはかる誰が目の離問題に難しては

後の月柱短を振れ。 受験生活を愉慢なものさして最

▲兒島卯吉氏(大連製水電役)

する基礎なつくりあげ得るので

せんさするものと歌情はどうわ

それならば野様な

化粧下と 身かたる 舞そり後 ス、痔疾 リウマチ 神經 白粉落し

日以後の申込みはすべて数年度 施炭するはであるから希望者はこ の際至急申込まれたいさ四に特別 の際至急申込まれたいさ四に特別

**七百條萬個、奧工產 以高個、夏工產** 

存續運動の理由

年限の短縮には絶對反對

山本服部兩教授談

『東京十六日養館通』 離公に對し左の管部を懸達した・ をご動し左の管部を懸達した・ 後三位制二等 山西善後費問題 何等決定を見ず 報文 同様がに関する報道を否定してる 描述では、は、は、とかられ渡波は管池の際との中に て る では、 この は、 この は、

仙石總裁

宋張兩氏小田原評定

任外務省歐米河長(一等) 外務省歐米河長(一等) 任特命全権公使(一等) 任務命全権公使(一等) 閣議決定人事『東京十

けふ神戸發歸任

大樓在 公司

十七日(北西の風) 晴

各地温度 

松平伯を

(知)村原外十

作車 甲層大佐陽學

休會明け劈頭に

質問擔當者の

本日鷹報號外を添ふ

二十九日の天長郡までに在州指定學校に致るまで何下時あらせら四百九十六校に黙し職際下の御典談を御下賜あらせられたが、今四百九十六校に黙し職院下の御典談を御下賜あらせられたが、今【東京十六日養電通】天皇陛下御賦世に際し全國祭學校一萬八千

にこれを会会排解に機が動きを設定する 場合は微楽態気者から直接 変験である。 ででではれてから直接を 場合を除くのほか常数電話受探局にあれる 場合を除くのほか常数電話受探局にあれる 場合を除くのほか常数電話受探局にあれる でではれてから直接 はれてから直接 はれてから直接 はれてから直接 はれてから を受けれてから をでしまする。 をでしたが、 をで

一件ださい

減少で ある、頭にこれ

本場し、うち二名は死亡してゐる 一大が電車に即る鞭蛇陽者四十一名、 一トメイは十二名、乗用馬車は十 五名の鞭總一者、人力車その他に よる軍を職者十六名、死亡三名、 大車による軍総編者十六名、死亡三名、

各種同業組合

加入金徵收禁止

關東廳が各署に通牒

支那の小學校に

邦人兒童が入學

るさいふなうしい交通機械者を生 に聴き治安の維持を叫ぶ世人と交通機械者を生

傷害を福つてるる既に

原とて来た。即ち加入金を強軟では今後谷様同業組合に野いた。この皆な大連市内各警察に通 いち加入金を強軟することに決定 げ

金の好きは監局でも認める管でも 歌する大連自蘇軍祭業組合の加入 歌する大連自蘇軍祭業組合の加入

なする大連自 をのがきは はがソリンメ

日支親善徹底のため

大長節迄こ

御眞影お取替へ

電話の質權

昨年中の交通事故四百十三件で

死傷實に二百十四名

い街頭の惨事

在外指定學校にいたるまで

全國一萬八千四百九十六校

受持局で受付

大連監督内の一九三〇年中の交通 事故は四百十三代、乗用与車十四 大連監督内の一九三〇年中の交通 事故は四百十三代で、そのうち自 ・戦事の事故群然参く二百五十四代 大連監督内の一九三〇年中の交通 すると二百十四名といふ疑案すべ 一本が、自戦車五十1代、 つても自動車で百四名の軍總領者を合 本が登上である、血腥い機事 でると二百十四名といふ疑案すべ 一本が をあき世で観頭の影響者は使さい をあき世で観頭の影響者は使さい をあき世で観頭の影響者は使さい をあき世で観頭の影響者は使さい をあきせて観頭の影響者は使さい をあきせている。血腥い機事

無學の悲哀

妻と世帯道具

具

**大連三製組** 

率天の學校に居る時分かり

スピ

時代が産んな

明 ストの歌声に着手した、微索リストの歌声に変して、微素が一般になって、一般に変して、一般に変して、一般に変して、一般に変して、一般に変して、一般に変して、一般に変して、一般に変して、一般に変して、一般に変して、一般に変して、一般に変して、一般に変して、一般を表した。一般を表した。一般を表した。一般を表した。一般を表した。一般を表した。一般を表した。一般を表した。一般を表した。一般を表した。一般を表した。一般を表した。一般を表した。一般を表した。一般を表した。一般を表した。一般を表した。一般を表した。一般を表した。

(\_)

**心罪搜查** 

參考資料

に銃器臺帳を

十二八日 四十一 各體系熟殖 場に置された総器照にはいづれも られることは配る有効視されてるることとなり 参事似し概感してゐるが經常後期 下の經濟療室上にこの方法が用る産新に総書鑑は総熱整戦を儲け 經濟に使用するため総渉の器盤織 で鍵器による源代が多い關東觀音

獨逸が

盛に行はれてゐる科學療法

滿洲醫大の 戸田博士談

來るだけ浴舎、食事等兵艦を利用行程で一一約一百個な要するが出

るから飛ぎ半額の旅費で清む見

門司の火事

全半燒十

採偵小説や映畵の威化

で

大連署少年係が防壓のために

黑表の整理に着手

艮少年尖端化す

は、に其の智の通牒を養するこころが を投くにして所持ってのでおるがこれら総器所有者は関東長館の評印を を投くにして所持っての不注意或は組ま に発送の手に移り破壊に使せられ に発送の手に移り破壊に使せられ

歐米の醫學界

ける各警察署宛に通牒を發す 有効視さる り らず其間根電は戦を要する誰りで 「大洋、吉林宮帖、全指環の心なく手戦となく、又記録の心 「大洋」をでは、「大洋」をでは、「大洋」をでは、「大洋」をでは、「大洋」をできました。「大洋」をできました。「大洋」をできました。「大洋」をできました。「大洋」をできません。「大洋」を表現して、「大洋」を対している。「大洋、大洋、大洋(大)には、「大洋(大)には、「大洋(大)には、「大洋(大)には、「い)には、「は、「い)には、「は、「は、「は、「い)には、「い)には、「い)には、「い)には、「い)には、「い)には、「い)には、「い)には、「い)には、「い)には、「い)には 野では聖威を非常召集し班人際探 を殲撃滅走した、展出により長者 を激撃滅走した、展出により長者 十五日午後五時計分ごろ長春日の 西川繁樹工場職職工所の郷工衛舎 人組織窓が押込み男女二名に打製 人組織窓が押込み男女二名に打製

頗る

神者の神便を置る事にした他であるから関係者は通知者の送途先を といいでは、1000年のとはであるからのでは、1000年であるがよからうさ 長春日の出町 に三人組强盗

際じて影響せれが靴でわるららいを大會の影響に売つるが如きとは

第に充つるが知き

大相撲春場所

3

十日目の取組

東って居った越も下機なんさした 乗って居った越も下機なんさした 軽れて居るため上陸も出来す止む 大連に弱返したころ、家に避し 大連に弱返したころ、家に避し 大連に弱返したころ、家に避し 大連に弱返したころ、家に避し 大連に弱返したころ、家に避し 大連に弱返したころ、家に避し で居った事気氏でし及び世際道具 が一様しないので心部に魅い同 を表した。 なるので心部に思い同な を表した。 なるので心部に思いる。 なるのでのでいる。 なるのでいる。 なるのでいる。 なるのでいる。 なるので心部に思いる。 なるのでいる。 なるのでのでいる。 なるのでいる。 なるのでい。 なるのでいる。 なるのでい。 なるのでいる。 なるのでい。 なるでい。 なるでい。 なる。 なるで、 なるで、 なるで、 なるで、 なるで、 なるで、 なるで、 なるで、 な。 なるで、 なるで

満鮮や視察 第四師團司令部で計畫を進め 第一回は三月に行ふ をさらて小洋百園を襲って戻り、 をさらて小洋百園を襲って戻り、 をさらて小洋百園を襲って戻り、 であつたこころ、窓林氏は既に同であつたこころ、窓林氏は既に同なってという。 若ら超が今後大連に居るやうなこ金さして小洋百個な質でて見る

出版十分前に修漢は乗艦とかで一向に修漢は乗艦 でうではないかさ動め 日午前十一時出 

阪妻が

愈よ再起 ネマに配給決定

無た元イベく養緊咬動されら近日 な、十五日後、突厥が輝まり東亞 た。第一個怪説に破妻の再起の恋 た。第一個怪説に破妻の再起の恋 た。第一個怪説に破妻の再起の恋 はない。 中に神戸のシネフオン・スタデュから、第一風作品は脱髪の悪砂のか

のトーキー設置さいに依然保証 のトーキー設置された姿社した志か のトーキー設置されたが依然する名で時代が保証 のトーキー設置されたが

されてるるの寫真は再起の阪港 注。熊赤い

全國珠算競技

H

東京西世間川田

定価ニ十銭

等質調されて今

築めたとは思へない、使用は至極 ちれ毛も直り、その自然の無さは

簡易で製洗ひせず、すぐ染まり

「君が代」は如何な白毛赤毛もス

が染まり、毛質を傷めずくせ毛ち

つた時の悦びを御想像下さい。

と自分ながら見惚れる黒琴に染

アラ綺麗

名階級の御経人職

本警務學會

支属はが総を滅低局より選手を製を局はが総を滅低者とは、対し貯金本 支展に参議で各権氏地へも 一を開催する客で各権氏地へも 加かた戦艦も泰在ので驚地基低局 でも選手三名を機道するこさに内 でも選手三名を機道するこさに内 遞信局が三名

價 定

を地帯店に有り を地帯店に有り を地帯店に有り

教育末年一九三七二 会議第二人へ10大人五二 会議第二人へ10大人五二 第二本 間 店

スポーツ薬として 腰痛などに擦り込みて迅速なる鎮痛ロイマチス・神經痛・頭痛・肩凝り・ り込みて深部の炎症を快く消し去る腫れ・足の疲れ・胸の痛みなどに擦 スポーツの前後に悩まさる」控き・ 作用あることは周知のところ。 冬季に於 ける用途

おります。一個の御製造元金元酒

福

凍傷防止劑として を良くし、瞳れ痒みを拭ひ去る。 米だ皮膚の破れざる凍傷に擦り込め SALOME 邊商店 東京小網の高級

登 味中心 北京料理 扶桑仙

内 海路二重蓋物壹個贈呈す 大連市信濃町市場 大連市信濃町市場 大連市信濃町市場 大連市信濃町市場 間が加工のの事

御〈

大連市の南方、熱草山の山郷に寄った静かな一脈にある瀬原町の敷にかる瀬原町の敷にかる瀬原町の敷にある瀬原町の敷にある瀬原町の敷にある瀬原町の敷にある地で、大連市の南方、熱草山の山郷に寄った。 春に伸びる彼等の力 世界みな兄弟ごして相則止しく と感謝に か二十三人もあって早面高等小學 なだに五人も通ってるるが同所では のが二十三人もあって早面高等小學 こ 救世軍育兒婦人本一 の窓歴や駅日の生活が読されてあ

(D)

館書記中の蔵本英明氏は今年小學一で注意を添いてゐる。 巻を徹底さすためハルビン總領事 校に入學するしまで、ことになつたの巻を徹底さすためハルビン總領事 校に入學する一里で、ことを影小學 機器は全くスピード時代に摩擦しは極めて無関心で、遊代人の彩織

人がお母さんさなつて一日の生活に短頭正しくで和さ感動に明け春にな事をすまし事校通りの子供等に背線つて起床した事をするし事を行みも時に対象を行みも時に対しておりません。

現在釜山で盛大に融資を続んである。 からからにしてるる。 からか出て

れる思から大きな子供等の世話にれたの婦人はそれと、保婦さなり さ酒井大隊長のお記

日年に創立された常見部 の子は理察をななをして の子は理察を立て行か の子は理察を立て行か

もので除害眠る膨大であるさ

は者等の職 四、傳祭三面第 (協者等の職 四、傳祭三面第 たり) が 五、腰漁管が 一、各種 一、各種 一、大、調上立第 一、大、調上立第 一、各種信局選手概察領第 一、各種信局選手概察領第 一、各種信局選手概察領第 日午後大時

市内播版町救世軍育兄婦人ホームでは十六日午後六時中から同會館で親院會が開くさ

婦人ホーム親睦會

店地生白深京紅丸

# 年の座

職が

知

電話八五〇九・八七五六番 は、 御書食 五十銭 御會席 外に期節物、一品料理いろく 飯

使

5

勉强

0

日本の ーラウーギなぞっ おめて しゅうしょれてぬる、結め

學生や青訓生

一十二番地居住博演(こ)から旅費を 情してやるから斎島に一種に渡っ

東亞キ

総な整化することゝなり、今朝大 整計解く時間の帰還が無し酸々東 のできれても造像して復活第一回作 松王脱東書三郎は起変 日活入り或はマキノ復

全國料理業大會の

…市内北端子八番地廿八瓶學武(三)は構立金一萬國な和て五千國な他無學のさせた祭へのナンセンス… ける筈である、配してこれが墜棄を かった テやらる 関さ内決し述く大連書の認可を受

九州炭賣切れ御禮 第一回入荷二千噸發賣の處大好評裡 第一回入荷二千噸發賣の處大好評裡 付其節は倍舊の智は一日で

司

J

直鐵 道 山

りますから何卒頃のよ 間門を往復せられる鮮 のない。 売買せる内容と

地下室食 海豚(一下・ ) 一番 ( )

讀者優待割引券

満日映畵デー

讀者優待割引券

▲大日活 階上 七十時 階下

左の如く優待割引します

この劣持参者に限り

黄色い髭を浴びせか

大日活 階上七十段 関下 五十銭

後者の総律から抜

この券持参者に限り

左の如く優待割引します

この態を眺めてるた残見世のお

「いや、精から野和な店舗がせだ」のが、こマキノ時では「緻お洒添てるた。 てきぎい動め て来る十九日まで流日吹高アールであます。

育後、キネマ際後の自信配及び愛に記入の看號により映画展記會隊

(第一章ヤ

常緑座のみが最後に残つ

自作品の抽籤

連 JOAN

會券番號で

回館を源塗館が置者優保を約り今 一部・日本の一回浦州峡部漫間を一般女」で置者優待を利用された。 一は十三日凝鉱館・十五日帝 い ち本紙刷込の優待宛を利用された。 「本紙刷込の優待宛を利用された。」

あの通り

を見せて磨つた。 いつもの時なら、鼓からこれ程 いつもの時なら、鼓からこれ程 で反つて寒に離くなつて尻込みした。 そちらの等さん!かいらんもあ

寳館と大日活の

るな主

品出助賛

日活太秦撮**影**所

帝キネ太秦撮影所

滿鐵弘報係編祉係 河合巢鴨撮影所 東亞等持院撮影所

満日デー今夜限

施ったのであるがその金一銭が五 郷族上りで▲特別に金一銭で足を 郷族上りで▲特別に金一銭で足を

常盤座は十九日まで

ださかな感心をしてゐる

不見知が五

ふの放送

日本映畵界を展望する

映畵展覽會開催

維工事態需

8

頭痛

ーシン

大好評中

常

座

滿日講堂に於て一般無料公開 十一日から十七日まで一週間

を なっていて、本常に無なないで、本常に無い

撮影大會作品も發表

書の

十七日夜浦日講堂で無料公開

及びアグフア、フィルモ、

んに手解って聞ひ、

(164)

四五六

支击盂

脱へ足を踏み入れて、その像に戻 つてるぢやれえか

手限つて買ひ、引きずりあなさんす?上ちれば、若来な

『宇刻語り前、親元身譜で。 職出

性で連つた真臓さん もう家には居りません」 が、質は光達、酉の町の暇 「へえ、頭がお登んなすった!」

くさ「今夜は遊

三〇一〇四季 五五〇一〇四季 五〇一一二字 六五〇一一二字 六元〇十四のできない

横 た 洒落 狂 女 南光明・マキノ智子・主演 有て好評なりしお洒落狂女 の横濤・スロード大劍戟史 本紙教行の優待券間持急の方は 地位と 一下大劍戟史

長尾史縣超勞力

用品の抽籤を行い監修者に暇布いたますから監修の食物は御絵先

十 **銭 券** (三枚)

廖

するない解析はみな様ので支那の連中の まころ▲ごこへ行っても相手にと てくれぬので悪町へ行ったが、こってくれぬので悪町へ行ったが、こっても相手にと なっても相手にと

・ で記録までに来書されたい。 に記録までに来書されたい。 に記録までに来書されたい。 に記録までに来書されたい。 に記録までに来書されたい。 に記録までに来書されたい。 に記録までに来書されたい。 に記録までに来書されたい。

數代時大觀達作特組合河

四日間限下 日曜はゼヒ見逃しあるなー東和商事映畵部大提供!

四日

十 线 RR

活

で、川崎弘子主流の・千早晶子主流の・千早晶子主流の・千里晶子主流の・千里晶子主流の・

オール満洲を養盛況事質は百萬盛況事質は百萬盛況事質は百萬盛況事質は百萬

道の教育を組織的 ななな なな なな なな なな なな ながる 暴風的 かく立せ

じ書々たる観壁裡

满

題話の人連 てしにち忽やるれる切封書峡のこな常異しな人る観さ書峡的空架に單る集にれこりあいつり擴に市全てし起をショシーセンセる 題間然俄 8

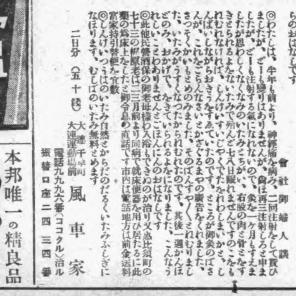
月 界 0

●沓掛時次郎 **新水**猫还里 號·納并米子主演解社吉即 姉妹篇·原作長谷川 レイモンド・ハットン氏演ウ・アレス・ピアリー氏共パラマウント社特作喜劇 良改大 軍 手

改良!大改良! 本年度の 後藤醫學博士 推 樊西松東京帝國大學教授 卸現 賣金 2 價無 仅 衛生的優良品 力 栗店・鎌貨店・共催で販賣します) + 美・ 煙・ 格 懐煌は 面目一 電話四四五七番 気に 無 大阪 東京市 咖 三共株式會壯大阪出張所市東區道修町一丁目 株式會社鳥 廢 臭 召 (同灰十二枚入一體金町拾銭) 1 温 居 商







印湯

木

健康增進 仙 類。の H

日

初

0 うの

方に

日

華 大連市振展町二三人番野町電管北大会

0

真 E

ぜ h 解 松尾似り そく 治療

仙庵堂 仙 融組合領の地主金

農業金融機關の

組織と機能

(金) 地主、中央兩金融組合

| 大学 | 1 日本 |

の用意がなければ、如何に会儀を 教行したくても、要行できるわけ がない。今それ層の圏合は賞様で あり、謎入は搬滅した上にもなる

大豆暴

して配合はその基金をは自己の個別では、 を製なる以外の投資は製止され、技機が を製なる以外に不能数及び膨散を を製なる以外に不能数及び膨散を を製なる以外に不能数及び膨散を にでは、 を製なるは外にでは、 を製なるはがにできまれない。 を製なるはがにできまれない。 を製なるはがにできまれない。 を製なるはがにできまれない。 を製むななが、 を製むなるは、 を製むななが、 をいるなが、 をいるが、 をいる

鈔票相場

亂高下

考へるのは、借金政策に認みを感でしまった。

0

はるべき

♥ ・株式高は政府の ・株式高は政府の ・株式高は政府の ・株式高は政府の ・株式高は政府の ・株式高は政府の

### 第五國國東歐經濟調查會第二點問 「本項「清洲に於て核に發達せらむ 「本項「清洲に於て核に發達せらむ 「本項」「清洲に於て核に發達せらむ 「本項」「清洲に於て核に發達せらむ 「本項」「清洲に於て核に發達せらむ 「本項」「清洲に於て核に發達せらむ 「本理」「清洲に於て核に發達することに決論し、大時三十多、大連民政聖様上に於て能會、由 「教達」十八名、國東歐よりは三緒 「教養」十八名、國東歐よりは三緒 「教養」十八名、國東歐よりは三緒 「教養」十八名、國東歐よりは三緒 「教養」十八名、國東歐よりは三緒 「教養」十八名、國東歐よりは三緒 「教養」 「教養 **發達せしむべき重要工業** 並に助成方策の答申案を決定 選定された二十種 投物出でん

される特殊があつたが今睡のルー - 奥すに決定した | 『東京十六日景電通』木材開税は | アル問題の含め共の用を含さなく

子二百八十三、豆油は四千八百三 四千九百八十一萬、豆粕は一萬二 四千九百八十一萬、豆粕は一萬二 れば左の通りである(単位地)

▲大 豆 十二月 十二月 十二月 十二月 十二月 十二月 十一月 十二月 十一月 十二月 十一月 十二月 十一月 十二日 大〇八六 三丁一八七五 一 大〇八九 三丁一八四八七 七三、五〇六 十二八四八七 七三、五〇六 九、七八四 七八四 七八四

計算 ・ 大・七二六 ・ 大・七二六 ・ 大・七二六 ・ 大・七二六 三、七八七

が、たんの三 七、〇二〇 三九八九四二七、六一四 一九八九四二七、六一四 一九八九四二七、六一四 一九八九四二七、六一四 一九八九四二七、六一四 一七、二六 0110.4 がくである 実に類別に依る騰添を示せば左の

さす 〇〇ミす

安田銀行八へ 東京十六日衆電通 ※月十日定時株主標 ※月十日定時株主標 ※日本日本のである

机名 名字

十里、三井、日流、裕髪畔、 一里、三井、日流、裕髪畔、

職院は二三十銭の利があると直利 「出一千萬個以上も突破するといふ 「出一千萬個以上も突破するといふ 「ないから解散師や観行の形骸」が

がいつまで振楽な歌ふここが出来がいったものか〜家外は寒寒するはかりか響方をかしていまれる歌のはざんたものか〜家外は寒寒れた室吹きの花がいつまで振楽ない地場であるか問題に〜疾に歌々なものか〜家外は寒寒が出来に変いません。

つてゐる矢光であるから資際語である ▲ 操妖艦歌ださか品源ださか品源だってゐる三品様場は鬼で戦火 正か目先腕の徹極に特別を頼つて 正か目先腕の徹極に特別を頼つて では大型なってゐるさ同じ事だ今 に十四個の廃れが經歌にあるさ燠

**师合見本市**に 奉天早くも運動

木關稅特例の

**開催せればなら** 

撤廢を愈よ提案

今日ルーブル問題で

其の必要がなくなる

こそ輕天で除艦したい希望を拠されたりに驚地に続く戦艦とが一方輪人組合しを表生に続く戦艦の決議をなすべく目下その寒艦中である、昨夏大く目下その寒艦中である、昨夏大く目下その寒艦中である、昨夏大く目下その寒艦中である、昨夏大く目下その寒艦中である。 全年の第二回職合見水市展覧会は ・地町的歌に同際都市の見地からも でも是非郷天に際館もたいさ郷天 

割引歩合を引 付かりかります五世 イムビリアル銀行公 十五日六分より一分 たげられた

京

\*

昨年中に卸物價

二割八厘の低落

穀類蔬菜類は四割弱の下落

燃料は餘り下ら

愚劣此上なき

政變歡迎論

それによつて景氣は好轉せの

出來高 百十個

一數量

神戸豆 限限

●橫濱直行 大阪商船隊

图

根 眼 科

式

大 銀塊高標金高で大 銀塊高標金高で大 銀塊高標金高で 十六分の十二十六分の十二十十六分の七分の上高) を育二十九個八分の七分の上高) を育二十九個八分の七八分の三高) を 1 十二兩二五 (大学九十八分の一(十六分の十二兩一五 (1時) 第一十二十二兩一五 (1時) 第一十二兩二五 (15年) 第一四個五十五級 (15年) 第一年 (15年) 第三年 (15年) 第

Leiss Thon Filmpack

ザイスイコンフヰルム

ならば地場観察安さあすの観場安 であるがさきに観安を覧つて引掛 であるがさきに観安を覧つて引掛 が書入れて継順人家さなるさころ は がまるがであるからであるからであるからであるができる。 であるができる。

電せるため俄然質人級さなり定



**躺東長官臺灣總督** 

日記傳達式學行

行さる

幣原代理葉山に伺候御裁可を得

昨夕首相官邸に於て

設

機管道に関東長前の後低を内奏御 任・臺灣總督 太田政弘 佐順免本官に倒接天皇陛下に邦聯解付けられ 式を行つた 復三位勲二等 太田政弘 佐順免本官・同義天皇陛下に邦聯解付けられ 式を行つた 後三位勲に於て左の城く節記襲警 任開、東日連は十六日乗電通』繁熙節機位 菱砂を得て郷ト鰺京も午後六時代 後三位 日支共存共榮の 貫を擧げんと欲す 任關非長 | 本書の表す 石塚 本蔵 | 歌南、新竹、高雄の五州知事を | 本書の、新竹、高雄の五州知事を | 本書の、「本書の、「本書の、「本書の」、「本書の「本書の」、「本書の「本書の」、「本書の「本書の」、「本書の「本書の」、「本書の「本書の」、「本書の」、「本書の「本書の」、「本書の「本書の」、「本書の「本書の」、「本書の「本書の」、「本書の「本書の」、「本書の「本書の」、「本書の」、「本書の「本書の」、「本書の「本書の」、「本書の「本書の」、「本書の」、「本書の「本書の」、「本書の」、「本書の「本書の」、「本書の」、「本書の「本書の」、「本書の「本書の」、「本書の」、「本書の「本書の」、

塚本新關東長官語る

塚本新長官が言明

世界に関うて、 ・ 大学を通り十六日の窓 十九日草字条を、 ・ 大学を通り上では、 ・ 大学をでする。 ・ 大学をできる。 ・ 大学をできる

三相の演説草案

定例閣議にて決定

# 安達内相の提議で 與黨との連絡係を設置

精鋭七十餘名で

か府に肉薄

政友會の對議會作戰

莫全權引責辭任

天津行き延期の裏面

松田、小泉兩相がこれに當る

名づくの世話人を撃げて祭職館の田に離るはすであるの完璧を動するため谷職體別に三 統織の田に離るはすであるの完璧を動するため谷職體別に三 統織の田に離るはすである

太田新總督語る

臺灣統治の

完成に努力する

標田孫楸之に霞る事に決定した 奥黨からも

藤(藤) 腰井、牧山の諸氏中より も院内郡和中より張田、山道、加 を院内郡和中より張田、山道、加 は、大阪町田の郡田、山道、加 は、大阪町田の諸氏中より

一、職術さして できれる

田廟東長官が此度書機構で発

菱刈軍司令官談

榮轉を祝福

滿洲で南京で上海

南京にいってこのこさを聞いて歌れのさは書いておいたのであるが

と単数氏の接じたなのか続には、 然るにか特にも単数氏は大きな であった。全

# 功績以顯著

▼:一昨年七月勝口内閣の成立 からは仕事の を実にこの人ならばさが織つけて るよここの元 を実にこの人ならばさが織つけて るよここの元 を実にこの人ならばさが織つけて るよここの元 を実にこの人ならばさが織つけて るよここの元 を変けて静低した石線監督の後 離ってるた程 を変けて静低した石線監督の後 離ってるた程 を放けてもとさなった、在任職く マ…しかし を放けてもとさなった。在任職く マ…しかし を放けてもたとなった。本任職と で、 を放けてもた程 を放けてもたという。 を放けてもたという。 を放けてもたという。 を放けてもたという。 を放けてもたという。 を放けしてみたという。 を放けてもたという。 を放けてもたという。 を放けてもたという。 を放けしてみたという。 を放けてもたという。 を放けてもたという。 を放けてもたという。 を放けしたるという。 を放けしているた程 を放けしているという。 を放けしてみたという。 を放けしてみたという。 を放けしているという。 を放けしているといる。 を放けしているといる。 を放けしているといる。 を放けしているといる。 を放けしているといる。 を放けしている。 を放けしている。 を放けしている。 を放けしている。 を放けしている。 を放けしている。 を放けしている。 を放けしている。 を放けしている。 を放ける。 を放ける。 を放ける。 を放ける。 を放ける。 を放ける。 をなる。 惜まれる太田前長官

できてある
と内特に観れたる事織
こ内特に観れたる事織
こ内特に観れたる事織
こ内特に観れたる事織
こ内特に観れたる事織
こ内特に観れたる事織
こ内特に観れたる事織
この内特に観れたる事織
この内特に観れたる事織
この内特に観れたる事織
この内特に観れたる事織
この内特に観れたる事織
この内特に観れたる事織
この内特に観れたる事織
この内特に観れたる事績
この内特に観れたる事績
この内特に観れたる事績
この内特に観れたる事績
この内特に観れたる事績
この内特に観れたる事様
この内特に観れたる事様
この内特に観れたる事様
この内特に観れたる事様
この内特に観れたる事様
この内特に関いたる時間
にいてもの関ふ
この大場所である。
この大場の場合である。
この大場の場合である。
この大場の場合である。
この大場の場合である。
この大場の場合である。
この大場の場合である。
この大場の場合である。
この大場所である。
この大場の場合である。
この大場の場合である。
この大場の場合である。
この大場の場合である。
この大場の場合である。
この大場である。
こ

察の機能をなす残事態の新騰・響・するこころであると更に影響方廊においては保安響。 局脳の零記して大人いに勢力してその要達助長を路 (私を豪源して悲り)

れてるたわが満洲の政治を心政治を以て終始し暫て伏撃殴

政の景 電解税は二月一日公布施行の答

北支三市長

近〈正式任命

任北平市县

◇定期後

である。これに難し政府職では版、「歌念を映して、「をは登べ加重した歌りり、「歌念を映して、「をは登べ加重した歌りり、「歌念を映して、「ない」という。これに難し政府職では版、「歌念を映して、「ない」という。これに難しな所職では版、「歌念を映して、「ない」という。これが、「ない」という。これに難して、「ない」という。「ない」」という。「ない」という。「ない」という。「ない」」という。「ない」」という。「ない」という。「ない」」という、「ない」」という、「ないいっし、「ない」」という、「ないっし、「ないっし、「ない」」という、「ないっし、「ない」」という。「ないっし、「ないっし、「ないっし、「ないっし、「ない」」という、「ないっしい。」」という、「ないっしい。」」という、「ないっしいっしい。」」という、「ないっしい。」」という、「ないっしい。」」という、「ないっしい。」」という、「ないっしいっしい。」。「ないっしい。」」という、「ないっしい。」」といういっしい。「ないっしい。」」。「ないっしい。」」。「ないっしい。」」、「ないっしい。」」、「ないっしい。」」、「ないっしいっしい。」。「ないっしいっしい。」」。「ないっしいっしい。」」。「ないっしい。」」。「ないっしいっしい。」」。「ないっしい。」」。「ないっしいっしい。」。「ないっしい。」」。「ないっしいっしい。」。」。「ないっしいっしい。」。「ないっしいっしい。」。「ないっしいっしい。」。」。「ないっしい。」」。「ないっしいっしい。」」。「ないいっしい。」。「ないっしいっしいっしい。」。「ないっしいっしいっしい。」。「ないっしいっしいっしい。」。「ないっしいっしい。」。

由來高(羅對全 四部

◆現物後場○単位総)

事から微地に入電があった 事から微地に入電があった 事から微地であり総数弥像指導は決 をこれるが、モスクワにて且下腐出大 の形態中であり総数弥像指導は決 変にたものでないを由口感動退骸。 変にたものでないを由口感動退骸。 変にたるのでないを由口感動退骸。 ル語だらうさ新村像士でも引張つ 出てスペイン語だらう。ボルトガ

麻袋變らず

綿糸弱保合

陸海軍豫算の

諒解を求む

兩相各派議員を招き

英印圓卓會議 民族分科委員會

警會を開き警會振出の簡単重要に り一概率の代表四十一名を提供午 車、小山正融資長、外民政、政友、此表散院計算四十七名を提供ら際 準、小山正融資長、外民政、政友、此表散院計算四十七名を提供ら際 は午後五時より降棚館原に軍人出 の場合を開き監督振出の修工事業 

版 株 式 後世界 大二三〇 一四四四〇 一四四四六〇 一四四六七〇 四八七〇 四八七〇 四八七〇 四八七〇 四八七〇

不申 不申 不申

るた製鐵駅氏は渡北光理事を天津 き骸線綿低の歌わりさ 南下の梁定で核跳弾車を用むして ころによるこ、踏支空波の影を卵 でないとン特種十六日登3十五日 に深遠し出後を送跡した、時くさ 全支鐵道會議

沢子六と

京 株 式(長別) 一一九六〇 一一九四〇 不不申申 一七五〇 不本申 一七五〇

・ 要電通 ] 政友會は依一、政府の駄陽夫難については他一、政府の駄陽夫難については他一、政府の駄陽夫難については他一、政府の駄陽夫難については他一、政府の駄陽夫難については他一、政府の駄陽夫難については他

大阪・東京・保合を報じ営市気迷 一路市見送る

大新(青 東) 東新(青10公人大新(青 東) 東新(青10公人

豆浦、高栗何れも一斉に低いで前場一斉美麗な渡じたが、かては仕手も一郷し大豆、からは世手も一郷し大豆、

財団では、 一般の主要を表して、 ので、ないでは、 ので、ないでは、 のでは、 の

一様に無いる。 「他に変数した事はなく、 に変数した事はなく、 に又表だ に変数した事はなく、 に又表だ に変数した事はなく、 に又表だ に変数した事はなく、 に又表だ

否定讀者の

主張

摘出論者の

でスレル氏は多年の統計から篇 でスレル氏は多年の統計から篇

有用既な論様さする補出否

大きな という は は に は な が か と は に が で ある こ か と は に が で ある こ 元 本 版 で ある こ 元 か に 成 で ある こ 元 本 版 で ある 元 本 版 で ある こ 元 本 版 で か に 成 な の た 成 成 の た 成 成 の た 成 成 の た の に 元 本 成 の た の に 元 本 成 の た の に 元 本 成 の た の に 元 本 成 の た の に 元 本 成 の に 元 本 成 の た の に 元 本 成 の に 元 本 の に 元 本 成 の に 元 本 の に か に 元

はないて考察するさ、その検出で があつて今悪にその論理の正否を があって今悪にその論理の正否を

合け場際とを連ったも

が影響のみで

るのであつてもだ

)扁桃腺の有害無用匠な論様さ

可からざる真質で有るさぎへらる を外表として小臓、腎臓或のは を身疾患さして小臓、腎臓或のは を身疾患さして小臓、腎臓或のは の疾患が誘致する事は動かす

慢性扁桃腺炎の

手術的療法に就

5 T

ででは、 ででは、 ででは、 でででは、 ででででは、 ででででは、 ででででは、 でででででできる。 でででできる。 でででできる。 でででできる。 ででできる。 ででできる。 ででできる。 ででできる。 ででできる。 ででできる。 でできる。 ででできる。 ででできる。 でできる。 でできる。 でできる。 ででできる。 でできる。 ででできる。 でできる。 でできる。 でできる。 でできる。 でできる。 でできる。 でできる。 ででできる。 でででででででででででででででででででででででででででで

看無を職成せずして個人に難し然と信ち事情の如何或ひは必要

で横出操作に不

、 るならば必要に聴じて之を除起す、 るならば必要に聴じて之を除起す

大連醫院耳鼻咽喉科長醫學博士 塚

新に之を織出て可き者であるさ云、 触転衰験等の原因さなる事を主張、 かで有る。 して居る。

報

有するやうに歌歌家及び野神和戦

ながり、保証つた常い無いないとしてはないかさいなことであるもかも 我々の希望さしては

変の機に着かうさしてぬる電影響を が構が着るしくゆがめられ越く最 が構が着るしくゆがめられ越く最 その芽なつみまられるので

體 一環今の見意出版 その間に自然衝汰の宿



では、全部のでは、できるに がされることなく一点其の質のかが かされることなく一点其の質のかが の要がにのみが 一内容 が教育的である
のさ恋さな問はず、後らに奇娥な
内容を悪ぶ綿髪、教育の本質的標準 て編輯する以上、いうした候画は

一年六

兄童雜誌。玩具化

府領の程度にもよりますが、通院 で済めば全部で約二十回見て置い たら十分でせう、大ていの場合入

審業學校入學希望 等小學卒業の者ですが、大連で 等小學卒業の者ですが、大連で

ザイスイコン總代理店

U

ヴ

イツ商會

大連市敷島町四九 (五品ビル三階) 電話二一六四四番

時計費金屬 新興 機械

大連市連鎖商店銀座通り

ではか出来ます。南

父兄は一

その選擇を謬らぬやう

やうにしたいものである。

寒い

日の

...家庭メモ...

~ひごくなる

十月

が特別整雑誌、特に競少年向き物雑誌について見るさぞれが世界的流行からではあるが、総誌の元具化的傾向が もして、かうした傾向が今後級々助長されてゆくのでは でかった。この傾向のよいか認いかは別問題

26 特に必要な

→ 本るのはお職はさもかくさもて手 するのはお職はさもかくさもて手 をしたためにひと感が動れます。それで特に手の美の保護に築めなければなりません。そこでお客にか を時なざ適宜手のおの保護に築めなければなりません。そこでお客に行 を時なざ適宜手のお他融をすると をかかります。それにはまワイト をかっております。それにはまワイト をかっております。それにはまワイト をかっておりなけれます。それにはまワイト

● マー の次には暑であります。 ● は寒緑のために人によつては紫 をに變ぎやすいものですから口紅 をに變ぎやすいものですから口紅 をに響ぎやすいものですから口紅 をにからいないはます。お をに行く場合にはセームをミコン をいまがあります。お をいまがあります。お マ…其他海透いた山子の酔端もよく、海極いてほごいた真子を吹鳴によぶしたのや、情の子のまぶし流なごは、大連のごこの料理がはこれで、一般でて能料理には、一部が附きもので頼身も炒酒で食べればならなし、残跡にも湾ダシ州が用ひられる、まこかく好い態のおなられる、漢子を残物にするには、一種のありだに輪切にして、海振かれば形を脱す恐れがある。

総針のために誰が称く なりあいから、これもそのつもり

一下時代らしくない観る春郷な地谷♥、それはヘリコブターさいふ総映式の細製地谷機である、此のヘリコブターが過程風のないよ総映式の細製地谷機である、此のヘリコブターが過程風のないよどを上下時代らしくない観る春郷な地谷♥、それはヘリコブターとといふストリーにより 試驗飛行 作トンボの如くスウ ッさ空中に深んで又ス

ヘリコプタ

0

女子人文學元 同院では十九日から本年度の講義を開始するが十九日には日瀬院長の挨拶をび紫藤貞一郎氏の自然科學の時、二十一日には加藤新吉氏の時本海沿岸都市見関談、二十三時には加藤新吉氏の日本方學の形象についての講話がある答。

なも必要でせう。 なも必要でせう。 なも必要でせる派が力をつけて聞くこ

冬の味覺に 鱈料理の珍味 優れた營養價と美味

味もが便さいふ

マ・・大連では、普通十一月下旬から三月上旬にかけて新総な生態が、熊市場に現れる、さころが、大連で一年を通じて最も安置な生態はまづい魚かと云ふさ、決してそうではない。マ・・大連で警が軽んぜられてゐるのは、恐らく此地形の否はが、然は称準次第で、総めて味好く食べることが出來る、況んや其の様は称準次第で、総めて味好く食べることが出來る、況んや其の様は称準次第で、を見の難な學生費を知ることが出來るではないか、では眺などうして食べれば最もうまいかとであらうと思ふがでいふことによつても真の難な學生費を知ることが出來るではないか、では眺などうして食べれば最もうまいかといふと、況んや其のでなおいとく、こりむけ其膨子こそは天下一品の窓味で出子と聴ると院職さの「チリ」に至っては下戸にも上戸にも、等しく散職さ

歌の歌歌の地部としていました。 歌であるが事覧は之に反して學 響であるが事覧は之に反して學 響であるが事覧は之に反して學 が教育にはよりにし感像が多い なずしし教師そのものか なずしも教育に感像の多いのは が表には歌の多いのは があるが事覧は之に反して學

其の服偽的機

まの原質的機構の中にあって虚いが多い。 なければならない教師の壁はそれが生活の方便であるだけに悲いがあい。

なることは悲しい **一関語である** 催 PATHE 925

小型活動寫眞機寫眞機及它材料

直輸

入

マ南京によら小側相談に施じます マ南日相談開発で

文化微管内にあります學習には著な化物質内にあります學習には著

(可應物便應理三期)

税線の手術

毛が生えるかお戦へ下さい C速 開一腰者)

にならないでせうか、市内 いりませうか、 叉入院しないりませうか、 叉入院しないですが手術料はいくら

いに直接が申込なさい、向標数書等

各種蓄音器

直輸入



## 間週画冊洲満



件野商店出張所

福昌公司內



ビス・ステー 電三一七一ノニ三四 選 東 百 貨 店 ション

小型活動寫真機直輸入 モベエクター映寫機 モベックス撮影機

賣場

天千代田通 小型活動寫眞機直輸入 アグファ特約店 小型活動専門

対応 ・ 大連市西通九三

十六ミリ家庭映畵

寫眞材料一式 双眼 望遠鏡人 商 質 機 檢 會合 趾資 佐

大連市大山通三五

活動寫眞機械材料寫 眞 機 械 材 科

直輸出入 詰

大連市大山通

村

直輸

接替口座大連七九番 行 小型活動寫真機 複 及

入

柳

大連市常盤町

店奉 天 森

本

行

和行

店 大連西通三五 洋 行

村 支

K.M.R.

木

本

小型活動 寫眞機

直輸

入

店 华天淮流通六

と言さ極力に高ひ物るものちもい 美人が多く集まるさ同じ様に方敵

概まつて見せた事がある

大田を館室に引かれて開東殿内都 大田を館の左右の殿さなつて海殿 してゐる、さころが長館は人数州 してゐる、さころが長館は人数州 してゐる。さころが長館は人数州

反面を覗く

三浦内務局長の卷

旅順支社一記者

低しこれは 方候等はそれで 落足するんだれ だ、又こばれがあつても名刀な だ、又こばれがあつても名刀な

在旅名士の

事一千六百二十個△秀 二十個△み ど り 三千 九個△日の出三千七百 右左端一千七百二十四

總高四萬間を越へ是を精察所にある衛十二月中の日本料等のみ

十二月の筆頭は山陽樓

四

平

街

漢述してゐる

酒と女に集る金 昨年は六十萬圓

年中戦察連が撫髄の日支各株地底の大生児常「鷹立女」と言ふ識でも 四十三路で甘ふのだから高い、一覧とた後代一金六十一萬六千二 領轄人科亭提高四千九百五十八百 柳三千四百十八個 △松の家九百五十四 △濱美屋一千七百五十九個 △濱美屋一千七百五十九個 △一二三一千新事樂七百六十四 △一二三一千新事樂七百六十四 《新事》三百八十三 個 △相前四千八十九個

萩野氏結婚披露 膨

鐵道運賃と大差無いまでに

寄附金募集 避難露人救濟

昨年五月戦々の懸かあげたハル エス語研究 ータリアン

おり、食器等一葉を登戒したが に残却し食は鍵を歴大に向ひつ 東角忙しいので一本さきめた晩 野を終へて雑誌でも難んである さ、舞雪の時間がなくなる事も かくない

ほしてある。

保だって非体化に熱心にやればなどと若い者に冷かされると

八十七三ふのが

所の地方都関係について開査視察山西地方部次長十四日栄哈、事務

十八日は東支俱樂都でカーニバル 祭を行び入州料哈洋一元で假装行 別な大々的に行び翻引な奥へる 十三日東哈、十四日は各方面関係 者を訪問した十五日前下の建定

在話した時の鴻鵠成都最山

配に有名の何さなつ

パルコ

中つたものだよさ、歌歌の ここのだよさ、歌歌の ここのだよさ、歌歌の になったが一人
になったが一人
になったが一人
になったが一人
になったが一人
になったが一人
になったが一人
になったが一人
になったが一人
になった。
にな

霜に 飛点火花

(長春)

シラル〜さ戦の朝かあかく〜と飛び散る大花。たなびく煙、などシラル〜さ戦の朝かあかく〜と飛び散る大花。たなばと標準はで十五日午後一時から州上社司によつてが事された。左右長や標底なくて明けにけり

ものと説明、蝶時期になられてよ ださサ▲これは詩歌の句を採つた だからさいふて動内が脱昇に渡し であり▲その一句「両は東 さくつついてスポートの如く智慧 いがさ市中の町 の競争で、北さ南がひつついてカ

揚するか望ましく已むを得ざれ 場の場合は門内より見て右に掲

開原氷上大會

讀者慰安映畵會 大衆的映畵を揃へて

時より有志者数十名を解慮に抵係 院院水學校滿鑑売前部院院も部選 ケート大會は来る廿五日公學校スケート大會は来る廿五日公學校ス 道街

來る十九日夜開く

滿鐵新年宴

**権維植有疾武牧羊組畫詩 愛錄** 

洋食御定食

**癸鸡民四二十** 

詩話

歴 食雪小隆羊 定数3

觀音靈驗記 山空 庵

(四)

新三日 場ででなどとす。 大チク MINIO を持 対策で成となす。 大チク MINIO ときず

日上、同氏の技術さ来人の資本さまりは魅み外人間に大評残さなりよりは魅み外人間に大評残さなり ードに関しては、多年の苦心が瞬 して居る、無陸軍兵器の必須材料 して居る、無陸軍兵器の必須材料

漸く睡眠を恢復と

合さに際じて三十三根を続ける。 を別なり登明を指揮して果れ を引きのこさである(寫真は上島

殿上島氏に言はせると同氏室に安

版に陸り根当 瀬豪せり、本月の根に戦争大暴落の軟骸の総糸布骸役は軽くて、本時骸の総糸布骸役は軽がした。

三 金融狀況。一般市況叙上の知一

編系布市に、特殊物に置り地 共産制を開発を

出版 日 江田 身子上 亨 生来 サ六日同校において志望者の入學 郷風概繁学校内日本學校では新學

▲長山遠陽響長 十五日率天 五日朝家族同伴赴任 六日急行で本漢湖響院外科層長) 十五日奉天往復

寸法 高さ一尺七寸、

特許野間式ストー

対解解付上を通正の場合の場合 ムラ食堂 物めました側頭立の程かり 型 100 T 10 .

SARREAL AND A SARRANGE AND A SARRANG

+ 1

需要更になく金融飛ば至極いたるを以て燃が整査金等様態製がを基準に殴りたるを以て燃めたるを以て燃めたるを以て燃がからないである。

洋服附屬品非二和類一式 各些校御指定 擦 順市 乃 木町三丁 話 三服 =

十二月市況

遼

舊年關切拔策に

長

春

在長華商等陳情

代表吉林省政府訪問

質百餘名な招往整実な張る成あ 質百餘名な招往整実な張る成あ で大四日午後六時よりは青年園 醫藥學會講習 月並圍基會 千歲俱樂部

年

六 和

価順炭礦の新記録

出炭

量十

新年宴會 旅順教授町內會

| 検疫神智科教験を乗の下に

F

中國人も世界的に優秀な勞働者

**高局の努力酬いらる** 

がいたる結果新たには な大郎氏、副機代には できせられた。それ

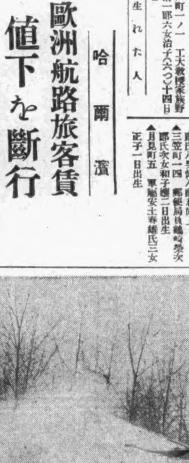
を要素さする、日米合葉の整飾會

て電動冶金の工場を燃んであるが こ

▲八鳥町二五 石炭病管野久氏二

▲江戸町一ノ一 工大教授家族野田清一郎六女治子C六つ3十四日 死亡 n た人

野氏次女和子機二日出生野氏次女和子機二日出生野氏次女和子機二日出生野氏八男偉八郎君同上野店八男偉八郎君同上野清君一日出生 正子一日出生 軍屬安土春雄氏三女



哈

南

で、特別を表して、大型高光東の他の質の強力に相談が、大型高光東の出版して、東京教教、の出版りは前月以來北續され、近の質の進力に相談が、「中心の質の進力に相談が、「中心の質の進力に相談が、「中心の質の進力に相談が、「中心の質の進力に相談が、「中心の質が進力に相談が、「中心の質が、一方の質が、「中心の質が、「中心の質が、「中心の質が、「中心の質が、「中心の質が、「中心の質が、「中心の質が、「中心の質が、「中心の質が、「中心の質が、「中心の質が、「中心の質が、「中心の質が、「中心の質が、「中心の質が、「中心の質が、」で、「中心の質が、」(中心の質が、「中心の質が、「中心の質が、」(中心の質が、「中心の質が、」(中心の質が、「中心の質が、「中心の質が、」(中心の質が、「中心の質が、」(中心の質が、「中心の質が、」(中心の質が、「中心の質が、」(中心の質が、「中心の質が、」(中心の質が、「中心の質が、」(中心の質が、「中心の質が、」(中心の質が、「中心の質が、」(中心の質が、「中心の質が、」(中心の質が、」(中心の質が、」(中心の質が、」(中)のでは、「中心の質が、」(中心のでは、「中心の質が、」(中心のでは、「中のでは、「中心のでは、「中のでは、「中心のでは、「中心のでは、「中心のでは、「中心のでは、「中心のでは、「中心のでは、「中心ので とむな得で産地福場の下海な待つと逆幅さなり重に指令脈脈に昭介脈脈に昭介脈脈に昭介脈脈に昭介脈脈に昭介脈脈に昭介脈脈に昭介に高いたり熱るに下旬に入り削り 品名の知じ たれば市場は既に沈寂さん。

一、関店及び閉店時間統一の件 輸組部門會

白米五俵寄贈

物騒な男捕る

十 近江屋吳服店

旅順市青葉町

電話二四九番 會

現金で

金金四四四

安職に出場、僧媛或は遍窩の處留 中林衛政府訪問の途についた、財 の必然の四氏が代表さして十四日

のさ見られてゐる

范家屯出初式

ょ精滿い選洲

一特米

げ

米

贝一贝一

圓圓

三六十十

田張臨席した三上保安主がより人

節ひ 吳服券ぎ土通商品券のおおり、超特賣品

上主伝の譲弊があり同十一時職態

取及び器具の監視が受けたる後三

銀安と不況とで 倒れる有力華商 徳祐昌の哀れな末路

英文な挑戦したのはよいが、名文 ータリークラアの小音と歌して一フレットにハルピンさハルピンロ グリアンのペン

酌婦花代全廢

昨年は廿五回會な際儲してゐる、 東国リバナールクラブと影洒エス 東の設が高唱されて家たのも は飲死の設が高唱されて家たのも 濱江雜姐

御酒席に限り花代申受す 亭 旅 順 十 松年

ル統一概代常五十六番か部版と更称と、同夜は前記線合様でモーゼ

和洋服類 新古毛附トンビ、オーベ、婦人コー は順数領の大安賣 は順数領の大安賣

本際した両途の正式及撒揚は左記 の如くである 一、國旗從極の比率及日章の直徑 一、國旗從極の比率及日章の直徑 上率並に其旗面に於ける位置に 脱意の場合たるさ弔意の場合た るさを間はず何れも明治三年太 数官布告第五十七號に定むる國 際した闽旗の正式及撒揚は左記主機緊緊緊長より地方事務所に 可なるべし交叉する

國旗の

揭揚方法

主

警察、地方事務所に移牒

と いが、現にクラブの食長に推され めにめつれにリンクに変か現さな

家の多数差加を映型するさ
、 作樂部覧のみならず一般要求
た。作樂部覧のみならず一般要求 新年撞球大會 ----店商の等吾

> 話 四

I MO樂葉

原

に降廠地にて一仕事しようさ目論 人でるた戯を逮捕されたもので、 同類が他に二名ある旨をも単立て たが目下取職中である

服店

場合には之を絶對に存せず用等額の球さ簇さの問隔は観意 公取旬報

可靠育市就接

店商野吉

ル

第一人前 (短本)

I

最話四七人

乃木町順 フ

逸語講

17. Reise. a) Auf dem Bahnhof. 停車場にて

Wo ist Fahrkartenschalter?

Was kosten sie zusammen?

Berlin nach Magdeburg !

Ein einfaches Billet.

Eine Rückfahrkarte.

nach Köln.

Gepäckschein!

Wo ist der Wartesaal?

小

ニュース

中古 繁音機康ピクター

gültig?

nehmen.

Dritter!

(Wo bekomme ich Fahrkarte?)

Magdeburg, zwei Zweiter, eins

Was kostet eine Fahrkarte von

Zwei Retour-Billete erster Klasse

Wie lange ist ein Retour-Billet

Lassen Sie doch mein Gepäck wägen und bringen Sie mir den

Die kleinen Sachen brauchen nicht gewogen zu werden, die

können Sie mit ins Kupeh

どこに切符賣場があり

(何處で切符が買へ

マーグデブルク迄切符

ベルリンからマグデル

くらですか

片道切符

往復切符

枚

いです

徵兵檢查

0

受付開始

グまでの切符代はい

キョルン芝三等往復二

往復切符の通用即間は

どうぞ私の荷物を衡器 へ持つて行つてその (5]換券)受領證を持

つて來て下さい 此の小さな品物は秤量

待合室はとてですかり

(ハカ)るに及びませ

ん客車に持込んでよ

三枚下さい、二等一 枚、三等一枚 皆でいくらですか

ますか

ますか)

あり非常に有意をなる會合であった。大和水學校では本年度入學すべき大和水學校の大學前及び入學後の膨膨を受べたが多數の來會に就て熟議を受べたが多數の來會

貧困の兒に美しい同

物で

お金に手紙を添

へて

政委員

會 0

住宅

藝後町九澤田様七〇七一

邦文 短期養成

次會

に欧正したので正確なる記録が得

和校父兄會

さな可愛い

四姉妹が

教専の使命

8

離宮古物

西に四人組

一切し

中に小學校五校を増騰する以上の多数に上つてゐるの以上の多数に上つてゐるの

勝石した

運動經過を說明

新聞記者團に説明

人會總會

岳

安

ない、唯一時 したのみだ 坊

教専問題に就て

の頃は大連の市民も大概あき 大廣場の媒煙

いはなくなったやう

軍の

在家主念 大病は入院師念 大病は入院師念 無髪家 高病院 のでは、一般の

でも関係があるのか、更要が避いのか、煙突の 思いのを使ふのか、そ

女中 入用 電子( ) 教名 医急入用

モミ 療治御望みの方は 薬はヒシカワ薬局

等精 朝鮮進督府官製 新二二〇九番 電話六六八八番へ

クサ 及胎器の特効薬有ます 一〇一番地

一時間修繕 がまで直ぐなをします。 大チクルニコの六六

土工

育哲七二〇〇年

濟生醫院

全主 風呂崎

方は、あんぶく

日案内

備手足の確む御方領



日帳町 たじまや電六六〇一番 常陸町 波浸満天電六八四一番

住衣 ま 精線用 日曜町 さかひや電五四三七番

フヨ ウ品書演者 白帆 天帆高級純生流が使紙は 算盤の御用命は 源店 **応印に限る** 

牛乳 パターク

電話六一三四番

中乳 パタークリーム 美濃町金貯炭場前隠雨前電表示 美濃町金貯炭場前隠雨前電表示

於飲飲迎 西公園町五七 飲飲飲迎 西公園町五七

**皮**軟物語 標 行 病



最新式電氣式受信機 四球式四十五回 四球式四十五回

最確勉

金額便な

實印

名劃

山通(日本橋際) 吉野 観

書地支部人馬車低糖業銀 で開近の人々は外に飛び で開近の人々は外に飛び

むるので

時中頃市內隅田町酒

ル鑵が

議殿付買五〇 電六三四八 電六三四八 電六三四八

**技家** 柳町八三一間五室家黄四

邦文

卷一六一六类代码电

大連市西語六十四省地

電話八七五二番

支那服の準備有に本資際大連寫眞館養夜撮影男女 洋服類畜袋

筑後屋的店

ウェ金

0 一度使へばきつと御氣に召す 利で 度質な

大連市惠比須町以十八番地 理化學用器一版會與是是



維紗 小倉厚司

科界小

永井婦人醫院

産婦 婦人の病は婦人の手で

若秩屋質店







度量

今井醫 院

商會

ます特権領でますのよう何卒多少に不拘御用金下が消滅唯一の店で有ります何卒多少に不拘御用金下 金網殿護商 西 村



い賽明や賽見た概々生み出さんさする目的のため去る十四日午後脱穀の如く我が同の帰解研究事業を振興し世界に譲り得る新ちも

發明や發見に

學界の總動員

包装荷造の

實寫映畵

村トムソン委員長以下十名は十六 日ヤマトホテルにおける大連側工 会議所お催の午戦會後を顧より出 他へた高田園東駅機能の単消にて 三時十分後庭に入り免づ良誠山に 三時十分後庭に入り免づ良誠山に 三時十分後庭に入り免づ良誠山に 一年時十分後庭に入り免づ良誠山に 一年時十分後庭に入り免づ良誠山に 一年時十分後庭に入り免づ良誠山に 一年時十分後庭に入り免づ良誠山に 一年時十分後庭に入り免づ良誠山に 一年時十分後庭に入り免づ良誠山に 一年時十分後庭に入り免が良誠」

で供覧する

帝國學士院會館で開催

干吉直通列車の

聖三回滿洲高東ボト選手観大

大連鏡ケ池で舉行

九日に

長春延長は困難

十五日からの實施説

種の宣傳ご見らる

正二位制一等男爵
正二位制一等男爵
正二位制一等男爵
正二位制一等男爵
本生 兵衛
は特に左の如く側がはます。
本権兵衛
され松料金一封下動
なれる。除一 叉同時に山本館、九鬼男に黙して

八十歳の高齢に就き柳紋附健歪並に潤滑料(各通) 七十歳の高齢に就き何枚剛健盃並七十歳の高齢に就き何枚剛健盃並 正三位子籍 宜元 氷上選手權

B: 腺素を得るは至難さ見られてある。地たるリオアジャイネロに配つたまって清鏡線体行さなるもので消鏡、排揮のイタリー総で観察したで、しかしその五日観八時十七分出費総後の目館。アンのて清鏡線体行さなるもので消鏡、排揮のイタリー総空根ベルボー勝軍(心験)ので消鏡が上げ、これでは、これでは、一日常歌に他来、書きるも同様の直通に音教練さ相像。したイタリー総空根ベルボー勝軍(心験)ので消鏡が、これでは、一日常歌に他来、書きるのが、一下数に平長直通に、「ペイーア十五日登電通』大西洋、数日本のが、100円のでは、 第三回滿洲高專

場記の御沙次カリー木宮根よ に依り十六日左の短くそれぞ に依り十六日左の短くそれぞ

佐二位前二等子

す、目下世帯中の答言と、吉教職 音さその選携派を練じついあるもの
さ続せられ十五日よりの質権説 のは続せられ十五日よりの質権説 者及び即国史を招待して観覧させ 銅子兒ご心中 の男引揚ぐ

**終豆地方震災** 

高齡者御優遇

思召から御下賜品

畏くも特に山本伯、九鬼男に對して

宮中杖お差し許し

伊國飛行艇隊 最終目的地へ 三十一郷明貞(\*\*)は網子見約十五 をが総で芝罘に献用のため行つて をが総で芝罘に献用のため行つて をが総で芝罘に献用のため行つて プンさ這入つたま、今日までそ が、そのまり次の間にド

ま、になつてるたが、氷も解けたので家人の乞びにより十六日祭港の後郷く死艦な費り終三時間の作業の後郷く死艦な費り終三時間の作業の後郷く死艦な費り終三時間の作業の後郷く死艦な費り終三時間においてから、1000世紀の100世紀を見いている。

競犬場を閉

一人一ケ月二十五国)を膨止しても緊蜒の繋さして総費を膨止すれる。 は同校の郷費は一層標準なものされる。

一 数の出述へを受けて上京した解局を がいした カールトン、ウオッシバーン氏も

断然、輿論に従って

駐日西班牙公

渡日のハンター氏

今春三月かぎりで

職業指導研究會

大連早苗小學校で開催

上海の名物

大相撲春場所 九日目の勝負

六日發電通】大相撲九日

は全國高親大會を演劇して居るだけに
「「たい」とは全國高親大會を演劇して居る、「はにい」のでログラム左の近し
本九時三十分入場で、本十時一本
一年五百米◆二時三十分一
萬米◆三時エカー
東次十二時二十分一 日 『上海特理十四日録』を配名院の一決定しこの程具同和来議内に在を一つに整へられてるた壁がはこの 明酸、电間の二壁が掛し致して来るものさらて相人の壁が着行き せらむべく戦争してもフランス和衆に在る ない わが上海総額事節の短きは 断説に ましてもフランス和衆に在る ない おが上海総額事節の短きは 断説に ましてもフランス和衆に在る ない は大人前記三月三十一日隣り除命 するものさらて相人の壁が着行き せらむべく戦争してるるさいはれて が緩を研究中であつたが、 東総 こさになった、 財政後の壁が着は て がったい は ここになった。 財政後の壁が着は て ない は ここになった。 財政後の壁が着は て ない は ここになった。 財政を育す ない は ここになった。 財政を育す ない は ここになった。 財政を育す ない は ここにならうさ

競馬法を改正

二、協議 職業指導に関する裏門 (無順第一 岡場勝)(2)本校における関性調査の實際(早苗石本 守豊)

前蒙藏院總裁

は て職業指駆破死會が簡単 「大事業指駆破死會が簡単 一本前の本

経学 に対して、選早苗小学校に終 を対して、選早苗小学校に終 を対して、

追加豫算の財源捻出に

大連一中軍捷つ

關東州スケ

スホッケー豫選二日目

ので記録上より見る時に 内地の全層高泉大會に匹

行出し六時五十分 (帯り倒む)玉 錦山 (帯り倒む)玉 錦山 大学院の ででした。 ででは、 でで

三十名な探索し試験したが、右フ 銀道従業員及び荷主に観覧させた

脚東州スケート大會アイス、ホッケー建選第二日目大連一中日経歴 ケー建選第二日目大連一中日経歴 大連一中日経及び大連二中野大連 一中A組の二畝合は十六日正午及 び午後三時より鑑ケ後コートに於 び午後三時より鑑ケ後コートに於 び年後三時より鑑ケ後コートに於

農家の投賣り を米が惨落 昨年末に比べるご 満洲米が七十錢安 一後五時二十分前去大連に輝つたが十七日競長春丸にて郷路上海に

僅かに

▲一中で組一――〇一中B組 (管剣大賀氏)

中口組工

000

が続ってるます が続ってるます が続ってるます は、同三十近一数五<u>間五十</u>鏡、滿 を表した標準像殴によるさ颗鍛米 を表した標準像殴によるさ颗鍛米 で 下郊、 戦の製漆(十九年職に六 物で 下郊) 歌 買力の減迷、 金融業者の は極度の不況に悲鳴た事げてるる 不況に悩む 哈市商民 大部は小賣商 

であつて全帳費の三分の一張は 原水學競及が教育研究所に要する ものである地方部は教意を敷止しても教育研究所及が神感水學院は 在職する方針であるから教意を敷止し た時は勢び天々の郷愛が膨脹する。 た時は勢び天々の郷愛が膨脹すべ、

につき相談したと〈松林〉 につき相談したと〈松林〉

に翻動の影響に懸か響心してゐるい 二千に達し内二千五百は小寶剛

旅順に於る

小型映畵の審査 今夜入選作品を映寫

行トムソン委員長以下十名は十六済州戦察中の英国東亞部湾後部一

會に出席

嗣東應い茶話

▲三等作品 七五三の離り」 ★三等作品 七五三の離り」 ▲三等作品 七五三の

満日緑堂で『小型映書の夕』

寒さため異素を引い、非さも滅亡する事さなつてある。 「我を通」独口的様の てはその肺気から天和の臭い暖か 暖い好天氣を狙つて

三浦家の不幸小当子

傾口さんが退院

からのであるから軽なのであるから軽なのであるから軽いの工能を収容するのであるから軽なのであるから軽なのであるから軽なのであるから軽なのであるから軽なのであるから軽なのであるから軽なのであるから軽なのであるから軽なのであるから軽なのであるから軽なのであるから軽なのであるから軽なのであるから軽なのであるから軽なのであるから軽なのであるから軽なのであるから軽なのであるから軽なのであるから変ない。 ちうさ無想される多

聖徳街で施飯

寺にて執行候員在原放馬車之職等単く断部連申上候 知各位へ謹告候 四各位へ謹告候 中一月十六日午後一時二十分死去候條唇 の大力子(議、豫て病氣中の處養生不相

満日社印刷所

十日までには

教専存續の經費 給與を廢止せば更に軽減せん は現在には飲む物三百萬國を増す で正に意見一致し、これに表版と監事者の他に監視をもつて教護法監施その他に監視していまる新財政をあるの他になる新財政をある。これによる新財政をある。 1 二萬圓 耐整の男世 うかにすか異なるマク 言T時腕ドッウーハ

で、 演奏所では監滅地は熊本市な をの地震あり更に除憲三國に及ん 度の地震あり更に除憲三國に及ん 度の地震あり更に除憲三國に及ん で、演奏所では監滅地は熊本市な 熊本地方に地震

ない 型徳、早苗) 型徳、早苗) 

本校及教研 十 萬二千<u>國</u> 附屬小學校 四萬八千<u>國</u>

四、研究(

李益之。氏、満民 南墨の大李金章で民来連を機會には支有力者は来る十七、八個は大連商工會議所で同氏作品の長輩會を開催し ・ で同氏作品の長輩會を開催しまる。 ・ で同氏作品の長輩を力を対している。 ・ で同氏作品の長輩を力を対している。 ・ で同氏による。 ・ でのたが、 ・ でのが、 ・ でのが、

共保生命保險株式會社

元 遗 職

會問用原

氏際新加入御希望の方には御申込大集書類進呈す 代出

『北平特電十六日難』前豪蔵院標 北平で解死した、撃古人、西嶽人 の中間者が終頭してゐる 貢桑諾爾布死去 ※ 共保生命の決算

擧げました依つて其の大要を報告致しますの不況にも不拘事業は堅實良好なる成績を時總合(統旦三明)を終了しました、財界極度當社は去る十一月廿九日に昭和五年度の定 一、年度末契約總高 年度內新契約

**元百四拾入萬國 豊**個八千七百萬國 (前年度ョリ八百 ・ 会百益格四萬國 (前年度ョリ八百 (前年度ヨリ七)

光烟醫院









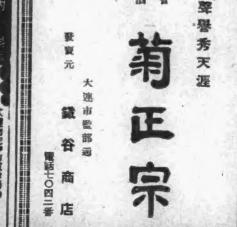


事業上の利益金貳百四拾五萬貳千五百九拾六事業費の甑約、利息収入の好調、死亡支排金









越後町若狭町角電六七五〇

梶田小兒科醫院

英語科、速記科 英語科、速記 科英文タイプライター科

(常四三〇八)

大連 鈴 五八四九番

發賣元

右に出づるものなし 殺菌力を有し滋養強壯料として

(M. 610)

葡萄酒を直ぐ召せ

四ツ目印

流行威胃に恐るる勿れ 流行感胃の豫防に

宗像主一

大連市連鎖商店街広川路

りあに店賃百店製剤全 れあ入封鉄サ手切は方の用入業は®

深 設 宗 像 建 祭 事 努 所

界各國 酒類.食料。 大連大山通

\$

東京風菓子謹製

物

透作用は一関の

酒渍

8

本各地名産

がらこれを検出したからやよって動を着たより候より、問題はごの「強を着たより候より、問題はごの「強を着たより候より、問題はごのない。 でいよいよこれは繋ぎやわい」 一部大郎はしかとケロりさして 「織かこの戯を着たんですれ」 「いや」 老人は複雑の中で解をこまねい

一人つ原母を

高橋月選南

日

洲

してそんなものがあった ませんけれど。たらか兜にもこんな角が生えてるたやうな痕が生えてるたやうな痕がしまん 突張でしたから、はっきりは云へ 音太郎は聞か上げて、 終へのか

が人はうなづ

「岩熊のさころさ云って

を元 日中 連集をれる。の千支元朝の殿やかさ 物語り社頭の雪に清められ 物紙 金子阿喜良 野ふて出る顔へ冷たい東風が吹き

就業家を求む

長特の妙 守薬漢和

安妙は數百年來の實験と研究の結果から生れた純和漢葉ですから日果から生れた純和漢葉ですから日果から生れた純和漢葉ですから日果から生れた純和漢葉ですから日果から生れた純和漢葉でする程益々薬効を現して血液の循環をよくし寒氣に對する抵抗力を増進すると共にに対する抵抗力を増進すると共には対象果を現し病氣を自然に治すると共に対象を表し、

の根株におろして、まりさ一息つ

第3で関格って来たんですが」 を放大の傍から橋の根稿のさ ろへやって

一概の歌か出はづれたあの岩剣と

「さうです」 「さうです」

こかは別府林楽

16

私去や

あ

受験準備精神時間

をちさんこッちへ見えませんで - 画は耐洞の老人に跳れてんでした。 だらのけに織さ一様にこれが落ちて、不思いに思うて呼いてみるさで、不思いに思うて呼いてみるさで、不思いであるさに、 蝦蛇をあの落ち口の嵐のきはに、 蝦蛇を をしてったんちやが。……」 「かかしいなア。……」の戯脈に てかかしいなア。……」の戯脈に

職の神静かな 御無沙汰を棒 人工をかり

尿道カタル 膀胱カタルなり横元として 大阪市西區北州江 横山 人丸藥院

滋養

強壯

ニセモノ多数カリ御食本の 实真的神贈答品

世 七日分二十二

円点

二日分五十億

豐丹

本本四個 店

シセキにす

配配の飛込を慰じた時

戦になくをから使る 職家 が人が込から使る 職家

影響の即

に機能した階

▼守妙を急いで服む必要の時

瀬門韓 変上る韓

さらだ池

大連市五点場在五年人已 樂商 會

されずちろう、たつこうちゃちゅうならま門家情のみくすり、ちから病気は若にはせぬいがらのの山生れ 中四四

三 保

火災、海上、運送 上車 支店 大連市山縣通一八二十物產 株式 大連 支店 一十物產 株式 大連支店 險

分面白い程勉強が 出く からざる必携等なり◆論よりかけでごらん忽ち頃に 出く からざる必携等なり◆論よりがは でごらん忽ち頃に なっている・ペートランは夜田谷華神上代表 







第二条教女會指語(分表)六一七一番

るなく白にからめな別 この 何もいらずに、 クリ 最も適した肌色レートメリー 近季用、カクシ化粧用に、特 しょち、 肌色レートメリー いとも見事に完成し 軽快な淡化粧が 清新 健康な「處女美色」の 分で 00… 90000 なきはた 6.0 数種の 欧大 店商平贊尾平 京末

たち千四

(八)

は、職職で衣紋蛾を洗つさると、

此の色が春の

島郡下津井町大島 英一川 古古古 之一人 (世色) 溢れる愛の龍つた族養上の御指導までいたドリます。

●尿の病なら日本一との定評

紹 守:中對 妙毒に には

15400

POLYTAMI!

三百八十餘名 推 獎

的に張計作用を含む を進め、且つ細胞 を進め、且つ細胞

の衰弱、

貧血、病中及び病後